

2004年度 作品賞 技術賞 業績賞について
～企画力・技術力・デザイン力向上の一環として表彰～

株式会社三菱地所設計では、企画力・技術力・デザイン力の向上を図るため、優れた作品や技術、顕著な業績の社内表彰を毎年実施しておりますが、今般、昨年度の成果に対する表彰作品・技術・業績を選定し、「2004年度 作品賞 技術賞 業績賞」の各賞の表彰式を4月22日に実施致しました。

1. 受賞作品など・選定のポイント

【最優秀賞】

「熱媒過流量制御システムの開発と性能検証」

慣例的な理論・概念にとらわれず、空調熱源システムにおける冷水流量の新しい考え方を導入したシステムを開発し、エネルギー効率を向上させ省エネルギーとコストの飛躍的削減を可能にしたこと。
「平成16年度 第43回空気調和・衛生工学会賞 技術賞(技術開発部門)」を受賞したこと。

【作品賞】

(優秀賞)

○ **「二番町ガーデン」**

壁面緑化などの環境共生をキーワードとし、周辺環境との調和を図り、特徴のあるオフィスビルと共同住宅を効率的、機能的に構成配置したこと。
屋上緑化を活用した「オープンエアオフィス」のような新たなワークスタイルを提案したこと。

○ **「明治安田生命ビル」**

特定街区の活用による重要文化財「明治生命館」の保存とデザイン的に対比させた超高層オフィスビルの建設であり、歴史的空間を効果的に演出するなど、街区の特性を生かした作品作りがなされていること。
環境共生技術という面からも評価されていること。

○ **「大阪証券取引所ビル」**

大阪経済のシンボルとして人々の記憶に残る建物を保存再生したこと。
北浜の歴史的な街並み景観の継承と、新たな機能を組み込んだ建物として仕上げ、建築主やテナントや地元の評価も高いこと。

○ **「THE HOUSE Minami Azabu」**

マンションの真の高級感とは何かを追求し、人に見せる豪華さではなく最上質の豊かさと心地良さを解として出していること。

(特別賞)

○ **「丸の内OAZO(丸の内北口ビルディング／丸の内ホテル・商業施設)」**

オフィス、ホテル、商業施設などの複合建築を、広場とアトリウム・ガレリアによる「複合の新しいかたち」が生み出す交流と賑わいにより、それぞれ個性豊かな建築を緩やかに融合し纏め上げたこと。
丸の内北口ビルで平成16年度の環境大臣表彰を受賞したこと。

(佳作)

○ **「糖業会館・ニッポン放送本社ビル」**

2つのクライアントのコンセプトをデザイン上、旨く一つに纏め上げるとともに、周辺環境を十分に考慮し、存在感のある印象深い建物となっていること。
旧糖業会館の建築的価値のあるインテリアを新会館内に保存利用したこと。

○ **「ロイヤルライフ多摩介護館」**

老人ホームの介護専門棟として、従来の介護施設のマニュアルを越えた検討がなされ、介護を受ける人が如何に豊かで快適に暮らせるかを追求していること。

○ **「ソアラノーム代々木上原」**

賃貸用集合住宅として普遍的な価値を継続して有するデザインを提案し、室内からバルコニーまで考え抜かれており、外観もシンプルにして美しいたたずまいとなっていること。

(奨励賞)

○ **「ルピナス守恒」**

賃貸用集合住宅としての事業性に十分な配慮がなされ、商品性の高い外装・内装デザイン、明快なプランニング、将来のメンテナンスや用途変更にも対応可能な設備計画など、考え尽くされた設計となっていること。

【技術賞】

- 「丸ノ内ホテル・商業施設棟のアトリウムの構造設計」
「やじろべえ架構」の採用により、軽快で安定した架構システムを実現し、屋根及びガラス壁面を支える柱が全く現れない、丸の内オアゾを象徴する大空間を作り上げたこと。
- 「官庁施設の中間免震レトロフィット構造システム」
愛知県西庁舎において、防災拠点としての耐震性能を確保するために、地下1階を免震層とする免震レトロフィット工法による「居ながら施工」耐震改修工事を実施し、国内最大級の「中間層免震」を実現したこと。

【業績賞】

- 「オンワード樫山仙台支店新築工事設計コンペ提案業務」
- 「大阪駅新北ビル開発に関わる熱源設備の技術提案」
- 「(仮称)渡辺通2丁目開発計画北側新ビル計画プロポーザル」
- 「内閣府庁舎基本計画資料作成業務プロポーザル」

2. 各賞の趣旨

「最優秀賞」

各賞に応募されたものの中から特に優れたものを「最優秀賞」とする。

「作品賞」

建築として総合的に作品を評価。優れた作品を「優秀賞」とし、都市計画上優れたものや、単体としてよりも集団として評価を行ったほうがよい作品を「特別賞」とする。また審査委員会が特に必要と認めた場合に「佳作」「奨励賞」を設ける。

「技術賞」

当社主体の発想により取り纏めたエンジニアリングに係る要素技術やシステム。

「業績賞」

コンペ・プロポーザルで特定された作品のほか、コンサル業務としての成果や業務改善に寄与した技術のうち優れたもの。

3. 審査過程

2004年度の対象は、同年1月～12月の間に、竣工した作品、発表された技術、実施された業務であり、2005年1月末の応募締切時で作品賞24作品、技術賞9件の応募があった。(業績賞については、コンペ・プロポーザルで当選した実績及び推薦された業績を審査対象とした)

社内の審査委員会(委員長:伊藤副社長、副委員長:岩井副社長、委員:担当役員・部長計7名、事務局:技術情報部)にて予備審査、本審査を実施し、4月1日に決定した。

以上